

講演会の開き方とこれのための分科会の分類について

最近の論文は相当専門化されてきていますので研究発表について十分な討議を行うためには月例講演会の運営を専門分科別にする必要があります。

そこで月例会の運営を次のように定め、1957年1月から実施いたします。

1. 当学会の月例講演会を第1部と第2部に分ける。
2. 第1部は一般気象に関する講演会、第2部は専門別の講演会とする。
3. 第2部の講演会を開催する場合においても第1部に属する講演希望があればこれに加えることも出来る。
4. 第2部に下記の分科会をおく。

第1分科会

解析および予報

(大気構造、気象力学、気象統計、気象学、
長期予報を含む)

第2分科会

雲物理学、気象電気学

(輻射、気象熱力学を含む)

第3分科会

気象観測および気象器械

5. 講演申込み様式

- 1) 宛先： 東京都杉並区馬橋4の499 気象研究所 神山恵三
- 2) 申込： 様式

著者名・所属・題目・所要時間・講演要旨(200字以内)・発表希望分科

上記分科会の運営を円滑にするため各分科担任の講演企画委員に下記の方々が当ることになりました。

第1分科会	岸保勘三郎	朝倉 正	第4 //	神山 恵三	上松 清
第2 //	藤原 美幸		第5 //	渡辺 次雄	
第3 //	清水 逸郎				

なお、全般にわたる委員は次の通りである。

神山 恵三(担当理事) 岸保勘三郎 渡辺 次雄 武田 武

○日本気象学会月例会のお知らせ

日	時	分科	主要題目	場所
2月1日	13時30分	第2分科	(太陽活動)	気象庁内
2月11日	9時00分	第1分科	(季節予報・気候・気象統計)	〃
2月15日	9時30分	第4分科	(航空気象・航空学会と共催)	〃
3月29日		第5分科	(気象教育)	未定

気 象 と 統 計

第 7 卷 第 2 号

論 説	脳波の統計論序説 (1)	佐藤 謙 助
研究報告	モンテ・カルロ法による設計風速の推定について	高橋 浩 一郎
話 題	極東域 700mb 半旬偏差図系列に関する一注意 Monte Carlo 法とは?	渡辺 次雄 小河原 正 巳
解 説	順序統計量による平均値および標準偏差の推定	檜 川 太 郎
紹 介	変異係数とその資料追加による修正法	鈴木 栄 一
講 座	順序統計量とその応用 (2)	鈴木 栄 一

会費年額 400円、半年 200円、分納も可、本号だけの場合は送料共 100円、バック・ナンバー若干あり。

気 象 統 計 懇 話 会

東京都杉並区馬橋4の499 気象研究所内
(振替東京195263番)